

別表 G :
競技チア——ゲームデー基準表
スペシャルオリンピックスおよびユニファイド向け

チア	サイドライン	バンドチャント	ファイトソング	タイムアウト演技
長さは 30 秒～1 分間	サイドラインは、モーションや簡単な技とともに、場面に応じてチャントを繰り返し、演技をしている各チームに対して観客にエールを送ってもらうよう促す。	30 秒	3 連続の 8 カウントまでの長さで、スポーツチームの録音された音楽に合わせ、観客へのアピールに効果的なスタッツやタンブリング、ジャンプを行う。	長さは 30 秒～1 分間
音楽なしの、タイムアウトスタイルのチア——チアチームは、チーム／国のカラー、チーム名／国名、マスコット、一般的な掛け声を中心に、チームや国にエールを送るようチアによって観客をリードし、鼓舞する。	チームは、攻守の状況により、合図に基づいてどのサイドラインを行うかを定める。(イベント主催者によっては、サイドラインを事前に決める場合もある)	取り入れられる音楽をとまなうチャント(キックやジャンプ以外を取り入れられないよう制限される場合もある)	ファイトソングは、一般的にチームのスポーツイベントにおいて、通常、得点やゴールなどの後に演奏される、伝統的な応援歌(例：特定のチーム独自の曲)であるべきである。	一般的に、スポーツイベントで観客にアピールする人気のある歌(例：ドクターフー、ヘイ、ゾンビーネーションのような歌)に合わせて演技が行われる。
チアは、スポーツイベントのタイム・アウトと一致していなければならない。	技は最低限かつシンプルであるべきである。	チアリーディングの技(例：スタッツ、簡単なピラミッド、ダンス、簡単なタンブリング)は、チームによるシャープなモーション、溢れるエネルギー、シンクロ性を表すものであるべきである。		チアリーディングのチームは、スポーツチームの録音された音楽に合わせ、観客へのアピールに効果的なスタッツ、タンブリング、ジャンプを取り入れることができる。
チームは、観客へのアピール効果を高めるため、サインボード、ポンポン、旗を使用すること、および観客へのアピール効果のある技を取り入れることが強く推奨される。	チームは、事前に準備したサイドラインの中から場面に応じたものを演じる。また、サインボード、ポンポン、メガフォンなど観客を鼓舞するための小道具の使用が推奨される。	チームは、サインボードや旗など、観客を鼓舞する小道具を選び、観客のレスポンスを促すことができる。		チームは、サインボードや旗など、観客を鼓舞する小道具を選び、観客のレスポンスを促すことができる。
母国語の使用が推奨される。	母国語の使用が推奨される。	母国語の使用が推奨される。	チャントが含まれる場合、母国語の使用が推奨される。	チャントが含まれる場合、母国語の使用が推奨される。

注：イベント主催者の判断によるが、ガイドラインとしては——5 つの種目から 4 種目を選んで組み合わせる。ゲームデールーティーンは、従来 3 分を超えることはない。